

新潟史学

第 90 号

■論文

- 戦国期武田氏奉行人奉書の機能 武田 郁也 (1)
不退堂聖純と栗林七郎治
—越後三条町の書画会— 矢田 俊文 (25)

■研究ノート

- 河村瑞賢は「立務場」を設けたのか 原 直史 (35)
安永八年十一月佐渡の「登龍」は地震津波か 片桐 昭彦 (49)

■動向

- 「高校歴史学」「高校民俗学」の可能性
—学術研究と地域課題解決の試み— 竹田 和夫 (57)

■新刊紹介

- 藤原圭『了蓮寺史』 竹田 和夫 (69)
栗原稔『栗原家文書と会津領瀧谷村のくらし』 原 直史 (72)

■記事

- 第75回新潟史学会研究大会・総会記事 (75)

新潟史学会

2026年2月

バックナンバーのお知らせ

『新潟史学』のバックナンバーの在庫及びその価格は次のとおりです。価格を改定しておりますので御注意下さい。
3～5、10～12号は一〇〇〇円、14、16～20号は一五〇〇円、
21～89号は一〇〇〇円です。

新潟史学第90号

発行日 二〇二六年二月二十八日

発行人 原 直史

発行所 新潟史学会

新潟市西区五十嵐二の町八〇五〇

新潟大学人文学部史学研究室内

電話(025) 262-6542

振込口座 006101614842

印刷所 富士印刷株式会社

新潟市南区保坂字岡下三五三番地一

電話(025) 372-3115